



# 石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 櫻井 弘

令和3年3月8日

第11号

## 思い・考え・行動する

櫻井 弘

令和2年度も残すところ僅かとなりました。この1年を振り返ると、令和元年度の2月末に臨時休校が発表され、3月から休校となり、2年生（現3年生）はスキー教室の直前で出発できなくなりました。そして、4月・5月と臨時休校が続き、6月からの分散登校でやっと学校が再開し、ほとんどの行事が中止や縮小、土曜授業や長期休業日短縮の実施、部活動の大会やコンクールの中止などで、楽しみにしていたことやがんばろうと思っていたことが思うようにできない1年でした。そんな中でしたが、石中生はできることを考え取り組み、大きく成長してくれたと感じています。

今後、皆さんのが活躍していくための参考になればと思い、考え方をいくつか提案します。一つ目は、今年の大河ドラマ主人公で、改定される1万円札の肖像に決まっている渋沢栄一氏の夢七訓で、「夢なきものに理想なし 理想なきものに信念なし 信念なきものに計画なし 計画なきものに実行なし 実行なきものに成果なし 成果なきものに幸福なし 故に幸福を求むる者は夢なかるべからず」という言葉です。幸福を掴むためには夢を持たなければならない、夢があればその実現に向けて努力でき、幸福につながるということです。

次は、ダイバーシティ（多様性）から柔軟な発想が生まれるということです。これは現代社会の中で言われていることです。今までこうだったからなどの固定観念からは柔軟な発想ができず、よりよく課題を解決していくことができない。ICT技術の発達が進むこれからの国際化社会ではますます大切な考え方になると思います。また、これまで大切にされてきた人物像に「勉強ができ、素直で、がまん強く、協調性があること」があります。どの要素も素晴らしい人徳ですが、それだけでなく「勉強してきたことを応用できる、素直だが芯をしっかりとっている、がまんもできるが状況を改善するための工夫ができる、みんなと合わせるだけでなく新しい方法を提案し進めることできる」などとプラスアルファも重要なになってきます。

最後に自分の見方・考え方を磨くことです。何かを判断するときに「好き嫌い」だけを理由に判断するのは幼いと感じます。「その根拠（エビデンス）は何か、どういう事実（ファクト）があるのか、どういう理屈（ロジック）からそのようになっているのか」を見つけることが、合理的な判断に結びつくと思います。そういう自分になるためには「自分の持っている知識量を増やしたり」「自分なりの課題解決に向けた取り組み方法を持っていたり」「困ったときに頼りになる友人がいたり」することが大切になります。また、お互いに良い影響を与え合う人間関係を築くことも大切です。そのためには、自分の価値観をしっかり持つこと（自分の物差しを使って他の人を測ることができること）です。以上何かの時に気にしてみてください。

### 保護者の皆様

令和2年度も本校へのご理解・ご支援・ご協力をいただきありがとうございました。今後も様々な課題が出てくると思いますが、「生徒が通いたくなる学校 保護者が信頼を寄せる学校 地域が誇りに思う学校」の実現に向け努力してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

# 練馬区立石神井中学校 令和2年度 学校評価アンケート集計結果

令和2年度の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。下記のとおりご多用の中にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。

学校評価アンケートは、同内容の項目について、生徒・保護者に回答をしてもらっています。それは、教育内容をどう感じているのか、また、立場により感じ方が違うところなどを見付け、学校運営上大切にしていかなければならないことの確認や、改善策を作るために活用しています。

集計結果の分析や今年度のアンケートでいただいたご意見を項目ごとに整理し、現状や対応策を考えてみました。

生徒・保護者の皆様からの様々なご意見を受け止め、次年度の計画に生かしていきますので、今後ともご支援ご協力をお願ひいたします。

アンケート回答数と回答率

学校評価アンケート 生徒・保護者 回答集計表	
------------------------------	--

学年	対象	在籍	回答数	回答率
1	生徒	210名	204件	97.14%
1	保護者	210家族	160件	76.19%
2	生徒	199名	184件	92.46%
2	保護者	199家族	149件	74.87%
3	生徒	215名	195件	90.69%
3	保護者	215家族	174件	80.93%
全校	生徒	624名	583件	93.42%
全校	保護者	624家族	483件	77.40%

評価項目	生徒				保護者				学校より		
	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	評価・改巻策		
1 石神井中学校の教育は教育目標に沿っている。	1年	31.9	45.6	11.3	0.0	1年	15.6	58.1	23.1	0.6	本校の教育の目指す姿が生徒に浸透できるよう指導するとともに、生徒アンケートや生徒に寄り添った指導を通して、生徒が求めていた姿を把握し、指導に生かす必要がある。第1学年においては、大変良好な数値となっているので、生徒指導の検証をし、次年度に生かしていく。
	2年	15.8	46.2	27.2	5.4	2年	15.4	47.7	35.6	0.0	
	3年	35.9	40.5	17.4	1.5	3年	14.4	60.3	23.0	0.0	
2 石神井中学校は楽しく、充実した生活ができる場である。	1年	50.5	26.5	12.3	0.0	1年	28.8	49.4	17.5	1.9	生徒に対しては、質問1と同様な傾向がうかがえる。例年、学年が上がるにしたがって、満足度が増えていく、第3学年が最も充実した結果となるのであるが、本年はそういう傾向ではない。コロナ感染症対策の影響を受けて、集団での活動に大きな制限を受けたこともあり、楽しさ、充実さが今一つであったことも考えられる。
	2年	20.1	46.7	22.3	5.4	2年	22.2	49.7	26.2	0.7	
	3年	46.2	37.8	14.9	2.6	3年	27.6	50.6	19.0	2.3	
3 石神井中学校は生徒が互いの気持ちを考えたり伝えたりできるように促している。	1年	36.8	37.3	15.2	0.0	1年	12.5	55.6	27.5	1.3	コロナ感染症対策の影響を受けて、お互いの気持ちを伝えたり考えたりする行為が制限され、充実した活動ができなかった。保護者の方にもご理解はいただいていると思うが、十分ではなかったことは痛感している。来年度は、コロナ禍の中でも知恵と工夫を駆かせ、制限ある中でも満足感が得られるような取組を練っていく。
	2年	13.6	42.4	33.7	4.4	2年	13.4	39.6	39.6	3.4	
	3年	41.5	35.9	16.4	1.5	3年	14.4	50.0	32.2	0.6	
4 石神井中学校は教育活動の内容や生徒の様子を、「たより」などで保護者に伝えている。	1年	59.8	26.0	3.4	0.0	1年	32.5	42.5	20.6	1.9	各学年便りを中心に、学校での生徒の活動の様子を概ね伝えることができていますが、ホームページ等においても学校生活の様子を毎年以上に配信している。来年度は、さらに工夫をし、生徒・保護者の満足が高まるよう取り組んでいく。
	2年	35.3	39.1	18.5	1.6	2年	22.8	46.3	28.2	1.3	
	3年	56.4	26.2	11.3	1.5	3年	23.0	51.7	23.0	1.2	
5 石神井中学校はわかりやすい授業をしている。	1年	40.2	40.2	8.8	0.0	1年	11.3	50.0	30.0	5.6	現2年生、3年生の実際に授業や指導を受けている生徒の数値に大きな変化はない。されど、1年生の評価はすこぶる高く、生徒が満足する授業が展開されていることがわかる。一方、保護者の受け止め方は厳しく、保護者としてはより高いレベルでの指導を求めていることの表れではないかと思われる。
	2年	16.3	48.9	25.5	4.4	2年	11.4	37.6	44.3	4.0	
	3年	23.6	35.4	32.3	4.1	3年	7.5	37.4	48.3	5.8	

		生徒				保護者				学校より	
	評価項目	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	評価・改善策	
6	石神井中学校は基礎的・基本的な学力がつけられるような指導をしている。	1年	52.9	28.9	7.4	0.0	1年	15.0	28.1	28.1	5.6
		2年	25.0	46.7	21.2	1.6	2年	13.4	41.6	39.6	2.7
		3年	41.0	36.4	16.9	1.0	3年	11.5	45.4	37.9	4.6
7	石神井中学校は考える力(思考力など)がつけられるような指導をしている。	1年	42.7	38.7	7.8	0.0	1年	15.0	41.9	31.9	8.8
		2年	20.1	46.7	24.5	3.3	2年	9.4	38.9	43.0	6.7
		3年	36.9	42.1	13.9	2.6	3年	9.2	46.0	40.2	3.5
8	石神井中学校は生徒が集団生活のルールを守り、規範意識をもつるように指導している。	1年	41.7	38.2	9.3	0.0	1年	26.9	50.6	18.8	0.6
		2年	25.0	42.4	23.4	3.8	2年	26.9	45.6	24.8	1.3
		3年	58.0	32.3	5.1	0.0	3年	32.2	49.4	16.1	1.2
9	石神井中学校は挨拶を大切にし、互いに挨拶することを奨励している。	1年	71.1	15.2	2.9	0.0	1年	45.0	41.3	10.0	1.3
		2年	50.5	34.8	8.2	1.1	2年	41.6	34.9	19.5	3.4
		3年	75.4	15.9	4.1	0.0	3年	52.3	36.2	8.1	2.3
10	石神井中学校は生徒が困ったときに親身になって相談に応じている。	1年	31.4	41.7	15.2	0.5	1年	20.6	38.8	36.3	0.0
		2年	19.0	37.5	31.0	7.1	2年	19.5	38.9	35.6	5.4
		3年	38.5	38.5	17.4	1.0	3年	20.1	39.1	36.2	4.0
11	石神井中学校は生徒の問題のある行動に対して、適切な指導、家庭連絡をしている。	1年	43.1	34.3	10.8	0.5	1年	18.1	45.0	31.9	1.9
		2年	20.7	47.8	20.1	5.4	2年	16.1	43.0	33.6	4.0
		3年	47.7	35.4	11.3	1.0	3年	20.7	42.5	32.8	2.9
12	石神井中学校は生徒の良いところは認め、いけないところは注意している。	1年	48.0	34.8	6.4	0.0	1年	23.1	43.1	31.3	0.0
		2年	21.2	42.4	25.5	5.4	2年	18.8	43.6	31.5	4.7
		3年	48.2	30.8	13.3	2.6	3年	19.0	47.7	30.5	1.7
13	石神井中学校は生徒が心身の健康を保てるように支援している。	1年	39.2	38.7	11.3	0.0	1年	22.5	46.3	26.9	1.9
		2年	22.3	41.3	24.5	6.5	2年	24.2	39.9	35.6	2.0
		3年	50.3	30.3	12.3	2.6	3年	18.4	48.3	28.7	3.5
14	石神井中学校は生徒が学校行事を通して、充実感や達成感を感じられるようしている。	1年	48.5	29.9	10.8	0.0	1年	23.8	39.4	30.0	3.8
		2年	26.6	41.3	17.9	8.2	2年	22.2	44.3	27.5	4.7
		3年	60.0	25.1	9.2	1.0	3年	21.8	50.6	24.7	2.3

		生徒				保護者				学校より	
	評価項目	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	評価・改善策	
15	石神井中学校は校舎・校内・教室の環境美化に努めている。	1年	49.0	31.4	8.8	0.0	1年	23.8	48.8	23.1	1.9
		2年	21.7	41.7	23.4	7.6	2年	20.8	45.6	30.9	2.0
		3年	41.5	36.9	12.8	4.1	3年	20.1	50.0	27.6	0.6
密な状態を避けなければという状況の中、本校はそれが対応できない施設状況である。ＩＣＴ機器の整備により教室に設置する機材が増え、スペースが狭くなっている上で、密を避ける対応や換気をしなくてはいけない状況を受け、生徒にとっては望ましい環境ではないことは承知している。教育委員会等への要望を継続し、改善できるようにしていく。											
16	石神井中学校は生徒が部活動を通して、充実感や達成感を感じられるようにしている。	1年	55.9	20.1	13.2	0.0	1年	28.1	44.4	22.5	2.5
		2年	30.4	35.9	17.4	8.7	2年	25.5	47.0	22.8	2.0
		3年	57.4	25.6	11.3	1.0	3年	31.0	44.8	22.4	0.6
17	私は石神井中学校へ通えて良かったと感じている。 (私は、子どもが石神井中学校へ通えて良かったと感じている。)	1年	52.0	26.0	11.8	0.0	1年	36.3	41.9	18.8	0.6
		2年	31.0	40.8	16.9	6.0	2年	35.6	37.6	23.5	2.0
		3年	47.7	32.3	13.9	1.5	3年	35.6	46.0	14.4	3.5
非常に事態宣言を受け、臨時休校や分散登校、部活動停止など、部活動に対する影響は甚大なものがあった。第2学年生徒の「不十分」と意思表示をしている8.7%は当然の数値と受け止めている。一方で保護者の「不十分」数値が前年に比べ、大きく改善しているのは、時間的・質的な部分が生徒の発達段階に合っていると判断しているのではないかと思われる。											
例年の傾向では、学年が上がるにつれて、数値が良い方向に振れていく傾向があるが、今年度は、特に1年生の満足度が高い結果となっている。中1ギャップという課題にうまく対応した指導が展開できた表れと思われる。今後も、生徒が求めている学校像に迫れるよう、全職員が一丸となって取り組んでいく。											

## 自由記述意見に対する回答

### 【評価アンケート全般に関するここと】

記名することやアンケート項目の選択肢（「よい」に関することが3つある）について

- 無記名で選択肢の変更（例：5項目 大変良い・概ね良い・どちらともいえない・少し不十分・改善が必要）をしていきます。

### I 生徒アンケートより

#### (1) 生活に関するここと

##### ① 体育の授業でのマスク着用について

- 体育実技の授業では、激しい運動をするときにはマスクを外して行うことができます。（マスクをしたまま激しい運動をして、呼吸困難で事故になった問題があったため）ただし、基本的にはマスクを着用していて、運動が激しくなるようならマスクを外すようにしてください。

##### ② タイツの色について

- 従来までのベージュに加え、令和2年度に限り、黒（80デニール以上）を使用可としました。着用する場合はルールを守り寒さ対策をしてください。校則の見直しで検討します。

##### ③ 登下校のカバンの重さと置き勉について

- 毎日かなり重いバッグを背負って登下校している状況は理解しています。少しでも改善するために学校のロッカーオーに置いておいても大丈夫な勉強道具について再度検討していきます。ただし、皆さんへもお願いがあります。他人の学習道具を勝手に借りたり、イタズラしたりは絶対にしないでください。誰もが安全に安心して生活できる環境を作ることに協力してください。

##### ④ 部活動について

- 最終下校時刻は、生徒が校門を出る時刻として徹底します。部活動保護者会において各部活動の方針、活動予定などの共有を図ります。

- 部長会を開催し、部活動の課題など改善を図ります。

##### ⑤ あいさつについて

- あいさつは、人間関係づくりの第一歩と考えています。あいさつの盛んな学校という伝統を大切にしていきましょう。

## ⑥ 校則全般について

→ コロナ禍収束の見通しがついたら、校則について見直しを進めていきます。実際の会議には、生徒の皆さんや保護者の皆さんにも参加してもらうように考えています。

## (2) 学習に関するここと

### ① 学習への不安について

→ 効率的な学習の進め方や、しっかり基礎を身に付けるためにどうすればいいかなど不安がある人は、いつも授業担当の先生や学級担任の先生に相談してください。また、タブレットPCに導入した学習支援ソフトを活用してみてください。

→ 地域連携事業の放課後「未来塾」も積極的に活用してください。

## (3) 学校行事について

### ① 学校行事について

→ 学習指導要領には学校で以下の行事を適切行うこととなっています。各学校行事がある意味を大切にして自主的に取り組んでください。

#### 1) 儀式的行事（入学式、卒業式、始業式、終業式など）

学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。

#### 2) 文化的行事（合唱コンクール、作品展など）

平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようになります。

#### 3) 健康安全・体育的行事（体育祭など）

心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようになります。

#### 4) 旅行・集団宿泊的行事（修学旅行、スキー移動教室など）

平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ学校行事とともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道德などについての体験を積むことができるようになります。

#### 5) 勤労生産・奉仕的行事（職場体験、ボランティア活動など）

勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。

### ② 学級活動（話し合い活動）について

→ 学習指導要領では、学級活動において次のことを学習することになっています。課題を解決するために必要な話し合いは大切です。

#### 1) 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。

#### 2) 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。

#### 3) 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

### ③ 生徒会活動について

→ 学習指導要領では、生徒会活動において次のことを学習することになっています。より良い学校生活を送るためにには、常に改善を心掛けることは必要だと思います。

#### 1) 生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けるようにする。

- 2) 生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようになる。
- 3) 自治的な集団における活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。

## 2 保護者アンケートより

### (1) 家庭と学校の連携について

#### ① 配布プリントについて

→ 配布プリントが保護者の手元まで届かない場合もあるようなので、重要なお知らせや提出をお願いする文書はHPにも掲載するようにします。学年だよりや学級だよりは個人情報を多く含みますので現状通り紙ベースで対応します。

#### ② 学校への相談について

→ ご家庭と学校とが連携し、子どもたちの成長に関わるというスタンスを大切にして、誰もが石神井中で良かったと思えるようにしていきましょう。

#### ③ コロナ対応について

→ コロナ感染症への基本的取り組みである、手洗い、健康チェック（検温）、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保などは継続して行きますので、ご家庭でもよろしくお願ひします。

### (2) 学習内容について

#### ① キャリア教育について

→ 今年度（令和2年度）はコロナ禍の影響により、職場体験は中止となっていましたが、令和3年度に向け、もし体験できないとしても別の方法で職業や生き方について学習を計画します。

#### ② 学習状況について

→ 令和2年度は2か月（4～5月）の休校期間があり授業時数を心配しましたが、その後行事の中止、長期休業日の短縮、土曜授業での調整などにより、例年通りの授業時数を確保できています。学習の定着に関しては、国・都・区の学力調査がなかったので経年での比較はできませんが、校内の定期考査などから着実に学習できていると判断できます。

#### ③ 授業について

→ 令和3年度から学習指導要領が改定になります。各教科では「何を理解しているか。何ができるか。（知識及び技能）」、「理解していること、できることをどう使うか。（思考力、判断力、表現力等）」、「どのように社会と関わりより良い人生を送るか。（学びに向かう力、人間性等）」を大切に授業を進めていきます。

#### ④ 自主学習の進め方について

→ タブレットPCが生徒一人に1台ずつ貸与されています。石神井中では、学習支援ソフト「ラインズeライブラリ」を使用し、家庭でも自主的に9教科の学習ができるようにしています。

#### ⑤ 学習評価について

→ 生徒の学習状況は通知表等でお知らせしていますが、各教科の学習状況についての評価は定期考査の点数ばかりではなく、授業プリント、作品、実技テストなど各教科の特性から総合的に判断しています。

### (3) 学校生活について

#### ① 給食について

→ 中学生期の子どもたちに必要な栄養、食事量のバランスを考え実施しています。生徒たちに人気のメニューやそうでないメニューがあるのはいつの時代も同じです。給食に関わってくださっている多くの皆さんに感謝しながらいただきましょう。また、給食の時間はしっかり確保していきます。

#### ② あいさつについて

→ コロナ禍もあり、大きな声でのあいさつはしにくい状況ですが、あいさつは人間関係の第一歩と考えています。ご来校の際は保護者の皆様からも、あいさつの大切さを伝えるためにお声掛けください。

### ③ 生徒指導について

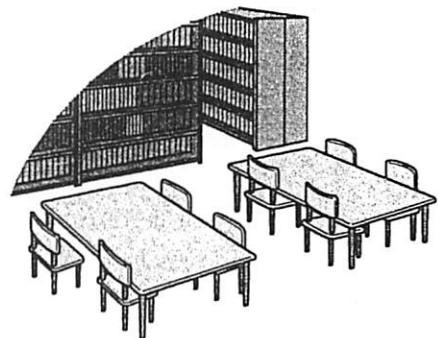
→ 生徒との人間関係を確かなものとし、卒業までに身に付けてもらいたいことや将来のために必要なことを生徒が納得できるように指導していきます。場合によって保護者の皆様にもご協力いただきます。

### ④ 学校施設について

→ 学校施設の改善については、毎年の学校配当予算、練馬区の予算などで対応しています。コロナ禍による大幅な税収減もありますが、令和3年度に向けては、校舎水道管の直結工事（高架水槽を使わず、水道管に直接つなげる）、プール改修工事、体育館（武道場含む）床補修工事などを予定しています。また、図書室の拡張、西側トイレのドライ化、バリアフリー化（校地内各所の段差の改善）など継続して予算要望をしていきます。

### ⑤ 再登校について

→ どうすれば生徒の安全を確保しながら対応できるか検討します。



## 緊急事態宣言の延長を受けて

コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の延長に伴い、学校における様々な教育活動の制限が続き、引き続き、ご迷惑をおかけしています。

練馬区では、緊急事態宣言の解除の日まで、「感染予防対策を講じても、なお飛沫感染の可能性が高まる学習活動は原則行わない」ことを継続しています。したがって、本校でも3月に予定していた合唱コンクールが、残念でありますが、中止となっています。しかしながら、次の活動については、保護者の了承のもと、しっかりとした感染症対策が講じられているという条件で実施可としています。

### I 2年校外学習および3年校外学習

内容等につきましては、学年より配布されます実施についてのお知らせをご覧ください。

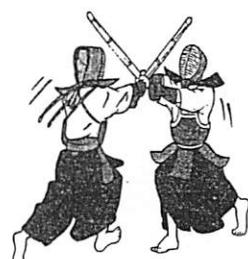
### 2 部活動

校内で実施する部活動については、短時間を前提として、生徒の体力低下等への配慮をおこなうとともに、感染予防対策を十分講じた上で実施を前提とすることとなっています。

本校では、これを踏まえて次のような形で実施していきます。

#### 【下校時刻】

- ・再開1週目（3／12（金）まで）は、17：30を最終下校時刻とする。
- ・再開2週目（3／19（金）まで）は、18：00を最終下校時刻とする。
- ・3／22（月）以降は通常の活動とする。



#### 【朝練習および土日の活動】

- ・緊急事態宣言中は朝練習および土日の活動は実施しない。

#### 【部活動単位での3年生を送る会】

3年生の卒業の前後に3年生を送る会やそれに準じた卒業生との練習会等を実施する部活動もあります。その際に保護者の参観等がある場合は、密を避けて感染症対策をおこなった上で実施を可とします。ただし、飲食を伴わない活動でお願いいたします。

日程確保ができない場合に限り、3／21（日）の実施を可としますが、ご配慮の方をお願いいたします。

★ なお、1年生および2年生の保護者会も実施となっています。各学年からのお知らせをご覧ください。